

2025年1月9日

2025年(1月～12月)の旅行動向見通し

JTBは、2025年の旅行動向見通しをまとめました。当調査は、1泊以上の日本人の旅行(ビジネス・帰省を含む)と訪日外国人旅行について、各種経済指標や消費者行動調査、運輸・観光関連データ、JTBグループが実施したアンケート調査などから推計したもので、1981年から継続的に調査を実施しています。2025年の調査結果は、次のとおりです。

- 2025年1年間の日本人の総旅行人数は3億1,910万人(対前年102.9%)
- 国内旅行は、旅行人数が3億500万人(対前年102.7%)、一人あたり旅行費用は47,800円(同101.1%)、総旅行消費額が14兆5,900億円(同103.8%)
- 海外旅行は、旅行人数が1,410万人(対前年108.5%)、一人あたり旅行費用は334,100円(同106.2%)、総旅行消費額が4兆7,100億円(同115.2%)
- 訪日外国人旅行者数は4,020万人(同108.9%)

【日本人の国内旅行】

- 雇用や給与は次第に良化し、暮らし向きもゆるやかな改善が期待され、旅行の追い風に
- 物価は引き続き上昇し、一人あたり旅行費用は高値傾向が継続する見込み

【日本人の海外旅行】

- 近年は急激な円安により海外旅行控えの傾向が見られたが、今後為替相場が落ち着けば、海外旅行の盛り上がりが見込まれる
- 東アジアなどの近距離方面だけでなく、ヨーロッパやオセアニアなどの中長距離方面の旅行者数も伸びる見込みで、一人あたり旅行費用は昨年からさらに増加

【訪日外国人旅行者】

- 2025年は過去最高となった2024年をさらに上回る見込み
- 新型コロナウイルス感染症後の急激な需要回復が一巡するとみられ、前年と比べ伸び率がゆるやかに

(図表1)2025年 年間旅行動向推計数値

	2025年予測			2024年予測			2019年実績推計
	予想	前年(24)比	19年比	予想	前年(23)比	19年比	確定
総旅行人数(延べ人数)	3億1,910万人	102.9%	102.1%	3億1,000万人	104.3%	99.4%	3億1,178万人
国内旅行	3億500万人	102.7%	104.7%	2億9,700万人	103.2%	101.8%	2億9,170万人
海外旅行	1,410万人	108.5%	70.3%	1,300万人	135.1%	64.8%	2,008万人
一人あたり旅行費用							
国内旅行	47,800円	101.1%	125.5%	47,300円	106.6%	124.1%	38,100円
海外旅行	334,100円	106.2%	140.9%	314,500円	105.8%	132.6%	237,200円
総旅行消費額	19兆3,000億円	106.4%	121.5%	18兆1,400億円	116.1%	114.2%	15兆8,900億円
国内旅行	14兆5,900億円	103.8%	131.2%	14兆500億円	110.0%	126.4%	11兆1,200億円
海外旅行	4兆7,100億円	115.2%	98.7%	4兆900億円	143.0%	85.7%	4兆7,700億円
平均旅行回数	2.58回	0.08回	0.07回	2.50回	0.12回	▲0.01回	2.51回
訪日外国人旅行者数	4,020万人	108.9%	126.1%	3,690万人	147.2%	115.7%	3,188万人

*国内旅行費用は、自宅を出発してから帰宅するまでの総費用。現地での買物代、食事代など現地消費分を含む。旅行前後の消費(衣類など携行品の購入費用など)は含まない。*海外旅行費用は、旅行費用(燃油サーチャージ含む)のほか、現地での買物代、食事代など現地消費分を含む。旅行前後の消費(衣類など携行品の購入費用など)は含まない。*国内旅行人数および海外旅行人数は、ビジネス・帰省を含む。*訪日旅行は、人数予測のみで消費額は算出していない。

*前年比および19年比は、小数点第二位以下を四捨五入している。

※調査結果の数字は四捨五入しているため、小計や前年公表の調査結果との差が合わない箇所があります。

1. 旅行者の現状

国内旅行について、2024 年は前年に実施された観光支援策の終了や国内の物価高などの影響により、宿泊者数は伸び悩みとなっています。2024 年の延べ宿泊者数をみると、1～11 月の累計は 4 億 4,858 万人泊で、2023 年同期(4 億 5,975 万人泊)と比べると 97.6%、2019 年同期(4 億 4,232 万人泊)と比べると 101.4%となっています(図表 2)。

海外旅行について、2024 年は国内外の物価高、円安、世界的な政情不安などの影響により、海外旅行者数の回復は遅れています。2024 年 1～11 月の日本人出国者数の累計は 1,182 万人で、2023 年同期(867 万 6 千人)と比べると 136.2%、2019 年同期(1,836 万 8 千人)と比べると 64.3%となっています(図表 2)。

訪日旅行について、2024 年は円安および物価安などの影響により、回復の勢いが一層増しています。2024 年 1～11 月の訪日外客数の累計は 3,338 万人で、2023 年同期(2,233 万 2 千人)と比べると 149.5%、2019 年同期(2,935 万 6 千人)と比べると 113.7%となっています(図表 2)。国・地域別にみると、2024 年 1～11 月の累計は多い順に韓国(795 万人、2023 年同期比 128.7%、2019 年同期比 149.0%)、中国(637 万 7 千人、2023 年同期比 301.8%、2019 年同期比 71.8%)、台湾(555 万 3 千人、2023 年同期比 146.0%、2019 年同期比 122.3%)となっています(図表 3)。

今回実施した旅行に関するアンケート調査によると、2024 年 1 月～12 月の 1 年間で 1 泊以上の旅行を実施した人の割合は、国内旅行については「1 回」が 22.9%、「2 回」が 16.5%、「3 回」が 8.9%、「4 回以上」は 12.3%で、6 割以上の人国内旅行を実施しました。性年代別に見ると、国内旅行を実施した人の割合は「女性 29 歳以下(80.7%)」が最も高く、次いで「女性 30 代(72.1%)」、「男性 29 歳以下(69.4%)」、「男性 30 代(67.2%)」となり、若い世代、特に女性の実施率が高い結果となりました(図表 4)。居住地域別にみると、国内旅行を実施した人の割合は「中国・四国地方(63.9%)」が最も高く、次いで「近畿地方(62.2%)」、「東北地方(61.8%)」となりました(図表 6)。

海外旅行については、実施した人の割合の合計が 8.7%となりました。性年代別に見ると、「男性 29 歳以下(17.1%)」が最も高く、次いで「女性 29 歳以下(14.6%)」、「男性 30 代(11.2%)」、「男性 40 代(8.0%)」となりました(図表 5)。国内旅行同様若い世代の実施率が高くなった一方で、海外旅行では女性より男性の割合がやや高い結果となりました。居住地域別にみると、実施した割合は「関東地方(11.9%)」が最も高く、次いで「九州地方(沖縄含む)(9.1%)」、「近畿地方(8.6%)」となりました(図表 6)。

(図表 2)2024 年の訪日外客数(1 月～11 月累計) (2023 年 2019 年との比較)

	1～11月の累計人数			2023年比	2019年比
	2024年	2023年	2019年		
延べ宿泊人数	596,672,260人	564,961,320人	548,791,520人	105.6%	108.7%
日本人延べ宿泊人数	448,584,890人	459,750,810人	442,318,000人	97.6%	101.4%
外国人延べ宿泊人数	148,087,370人	105,210,510人	106,473,520人	140.8%	139.1%
日本人出国者数	11,820,000人	8,676,247人	18,368,350人	136.2%	64.3%
訪日外客数	33,379,900人	22,332,235人	29,355,662人	149.5%	113.7%

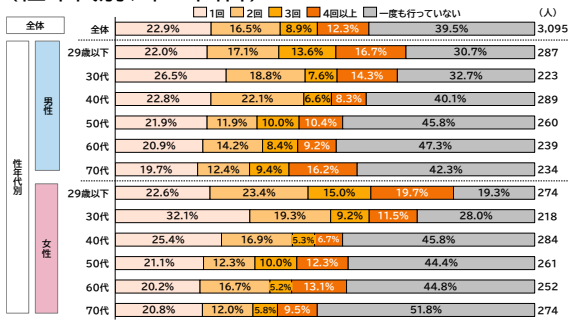
出所：観光庁「宿泊旅行統計調査」(2024 年 11 月は第 1 次速報値、2024 年 1～10 月は第 2 次速報値、2023 年および 2019 年は確定値)/JNTO「訪日外客数・出国日本人数」(日本人出国者数：2024 年 11 月は推計値、2024 年 1～10 月は暫定値、2023 年および 2019 年は確定値、訪日外客数：2024 年 10 月・11 月は推計値、1～9 月は暫定値、2023 年および 2019 年は確定値)

(図表 3)国別 2024 年の訪日外客数上位 7 か国(1 月～11 月累計)と 2023 年・2019 年との比較

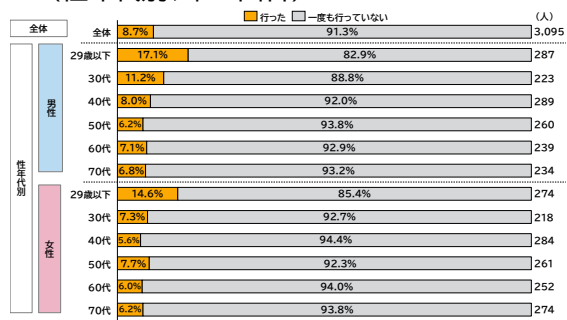
	1～11月の累計訪日外客数(実績)			2023年比	2019年比
	2024年	2023年	2019年		
韓国	7,950,300人	6,175,768人	5,336,638人	128.7%	149.0%
中国	6,376,900人	2,112,683人	8,884,160人	301.8%	71.8%
台湾	5,553,200人	3,802,934人	4,542,333人	146.0%	122.3%
アメリカ	2,486,100人	1,862,688人	1,579,363人	133.5%	157.4%
香港	2,397,800人	1,863,322人	2,041,150人	128.7%	117.5%
タイ	1,002,200人	869,736人	1,154,041人	115.2%	86.8%
オーストラリア	807,800人	523,591人	549,118人	154.3%	147.1%

出所：JNTO「訪日外客数・出国日本人数」(2024 年 10 月・11 月は推計値、2024 年 1～9 月は暫定値、2019 年及び 2023 年は確定値)

(図表 4)2024 年の国内旅行実施率
(性年代別、単一回答)



(図表 5)2024 年の海外旅行実施率
(性年代別、単一回答)



(図表 6)2024 年旅行実施率(居住地域別、単一回答)

居住地域	国内					海外	
	1回	2回	3回	4回以上	一度も行っていない	行った	一度も行っていない
全体(3095)	22.9	16.5	8.9	12.3	39.5	8.7	91.3
北海道(150)	24.7	12.0	4.0	14.7	44.7	3.3	96.7
東北地方(175)	22.9	20.6	6.9	11.4	38.3	5.1	94.9
関東地方(1137)	22.0	16.7	8.6	13.3	39.4	11.9	88.1
中部地方(512)	23.4	14.8	10.5	11.1	40.0	6.6	93.4
近畿地方(549)	22.4	18.9	8.7	12.2	37.7	8.6	91.4
中国・四国地方(274)	26.3	17.5	9.9	10.2	36.1	4.7	95.3
九州地方(沖縄含む)(298)	22.1	12.8	9.7	11.7	43.6	9.1	90.9

2.2025 年のカレンダーと主なイベント

2025 年のカレンダーは、3 連休以上が 9 回あります。2024 年は 11 回だったので、2 回の減少となります。GW は後半(5 月 3 日(土)~6 日(火))が 4 連休となり、前半(4 月 26 日(土)~29 日(火))は 4 月 28 日(月)を休めば 4 連休となります。夏休みは、お盆期間の平日(8 月 12 日(火)~15 日(金))を休むと 8 月 9 日(土)~17 日(日)の 9 連休になります。2025 年~2026 年の年末年始は、12 月 29 日(月)~31 日(水)を休めば 12 月 27 日(土)~1 月 4 日(日)の 9 連休になります。

2025 年に開業(開催)される主な施設・イベントは、図表 7 のとおりです。

<参考>2025 年の連休	
・1 月 11 日(土)~13 日(月):3 連休	
・2 月 22 日(土)~24 日(月):3 連休	
・5 月 3 日(土)~6 日(火):4 連休	
・7 月 19 日(土)~21 日(月):3 連休	
・8 月 9 日(土)~11 日(月):3 連休	
・9 月 13 日(土)~15 日(月):3 連休	
・10 月 11 日(土)~13 日(月):3 連休	
・11 月 1 日(土)~3 日(月):3 連休	
・11 月 22 日(土)~24 日(月):3 連休	

2025年4月20日~5月10日の日並び						
日	月	火	水	木	金	土
4月20日	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30	5月1日	2	3
4	5	6	7	8	9	10

2025年8月3日~23日の日並び						
日	月	火	水	木	金	土
8月3日	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23

2025年12月21日~2026年1月10日の日並び						
日	月	火	水	木	金	土
12月21日	22	23	24	25	26	27
28	29	30	31	1月1日	2	3
4	5	6	7	8	9	10

※赤色は国民の祝日

(1)イベント:2025 年日本国際博覧会 ©Expo 2025

「いのち輝く未来のデザイン」をテーマに行われる万博で、国連が掲げる持続可能な開発目標(SDGs)の達成への貢献、日本の国家戦略「Society5.0」の実現を目的とする。160 以上の国・地域や国際機関、民間企業が参加。最先端技術や国際交流の活性化によるイノベーション創出、地域経済の活性化などの実現を目指す。また、会場周辺の市町村や観光地、「瀬戸内国際芸術祭 2025」との連携などによる交流促進・経済波及効果も期待される。

(2)イベント:瀬戸内国際芸術祭 2025

2010 年から 3 年ごとに開催されている芸術祭。高齢化・過疎化により活力が失われつつある瀬戸内海の島々において、現代美術と島の自然・文化を融合させた芸術祭を開催し世界に発信することで、かつて交通路としてにぎわった時代のような活気を取り戻すことを目指している。6 回目となる今回は、「2025 年日本国際博覧会」との相乗効果にも期待がかかる。

(3)レジャー・商業施設:JUNGLIA(ジャングリア)

沖縄県名護市と今帰仁村にまたがるエリアに誕生するテーマパーク。「Power Vacance!!(パワーバカンス)」をコンセプトに、都会では味わえない沖縄県ならではの体験を提供。「恐竜サファリランド」「気球体験」をはじめ、大自然を生かしたアトラクションが充実。レストランや温浴施設も併設。

(図表 7)2025 年に開業(開催)予定の主な施設・イベント

ジャンル	予定日・時期	エリア・箇所	施設・イベント名
イベント	4月~12月	千葉	千葉国際芸術祭2025
	4月13日~10月13日	大阪・夢洲	2025年日本国際博覧会
	4月18日~11月9日のうち107日間	香川県と岡山県の一部	瀬戸内国際芸術祭2025
	9月13日~11月30日	愛知県内	国際芸術祭あいち2025
スポーツ大会	9月13日~21日	東京	世界陸上競技選手権大会
	11月15日~26日	東京	東京2025デフリンピック
スポーツ施設	4月4日	兵庫・神戸	GLION ARENA KOBE
	秋	東京・台場	TOYOTA ARENA TOKYO
レジャー・商業施設	1月26日	東京・銀座	Ginza Sony Park
	3月21日	大阪・梅田	グラングリーン大阪南館(グランドオープン)
	3月27日	東京・高輪	TAKANAWA GATEWAY CITY
	年内	沖縄・名護	JUNGLIA(ジャングリア)
宿泊施設	4月3日	大阪・梅田	ワールドーフ・アストリア大阪
	3月	北海道・北広島	エスコンフィールドHOKKAIDOホテル北広島駅前
	春	大阪・中央区	パティーナ大阪
	7月1日	東京・芝浦	フェアモント東京
	年内	京都・東山区	カペラ京都
交通施設	年内	北海道・倶知安	カッシーア・比羅夫ニセコ
	3月28日	福岡	福岡空港国際線旅客ターミナル(グランドオープン)

出所:記事・ホームページ等をもとに、
JTB 総合研究所作成

3.国内旅行の動向 ※訪日外国人旅行者は除く、日本居住者の国内旅行

2025年の国内旅行人数は3億500万人(対前年102.7%、対2019年104.7%)

一人あたり旅行費用は47,800円(対前年101.1%、対2019年125.5%)

国内総旅行消費額は14兆5,900億円(対前年103.8%、対2019年131.2%)

2025年の国内旅行者数は3億500万人(対前年102.7%、対2019年104.7%)、一人あたり旅行費用は物価の高値傾向が継続すると予想されるため47,800円(対前年101.1%、対2019年125.5%)、国内総旅行消費額は14兆5,900億円(対前年103.8%、対2019年131.2%)と推計します。

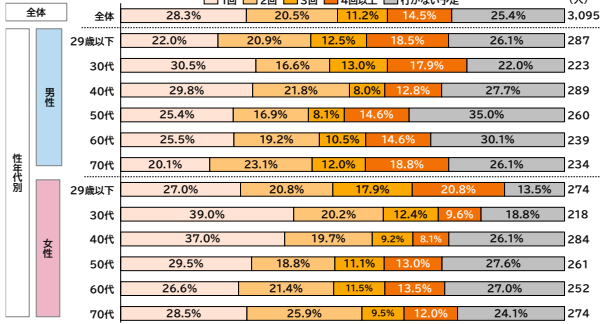
物価は引き続き上昇する一方で、雇用や給与に関しては次第に良化されていく見通しです。暮らし向きもゆるやかな改善が期待され、旅行に対して追い風になることが考えられます。

前述のアンケート調査によると、2025年1月~12月の1年間で1泊以上の国内旅行を実施する意向を聞いたところ、「1回」が28.3%、「2回」が20.5%、「3回」が11.2%、「4回以上」は14.5%となりました(図表8)。性年代別に見ると、国内旅行を実施する人の割合は「女性29歳以下(86.5%)」が最も高く、次いで「女性30代(81.2%)」、「男性30代(78.0%)」、「女性70代(75.9%)」となりました。居住地域別にみると、国内旅行を実施する人の割合は「中国・四国地方(77.7%)」が最も高く、次いで「近畿地方(77.6%)」、「中部地方(75.6%)」となりました(図表9)。

一方で、国内旅行に「一度も行かない」と答えた人は25.4%でした。その理由を聞いたところ、最も割合が高いのが「家計に余裕がないから(35.4%)」、次いで「旅行費用が高いから(23.4%)」、「旅行に興味がないから(14.6%)」となりました。予算面の厳しさが引き続きみられます(図表10)。

国内旅行を実施すると答えた人に対し、旅行先を決めるきっかけになりそうなものを聞いたところ、「自然が楽しめる場所(国立公園や花畑など)」が31.4%と最も高く、またカテゴリ別ではテーマパークなどを含む「観光施設」が軒並み高い傾向となりました(図表11)。また現時点で考えている旅行の行き先について聞いたところ、「中部(東海・甲信越・北陸)(33.8%)」が最も高く、次いで「九州(沖縄含む)(31.7%)」、「関東(31.3%)」となりました。北海道と九州は居住地域と旅行先が同じ域内旅行が多い傾向が見られる一方で、関東地方や近畿地方などから北海道・九州・沖縄などの遠方を訪れる人も相応にみられます(図表12)。

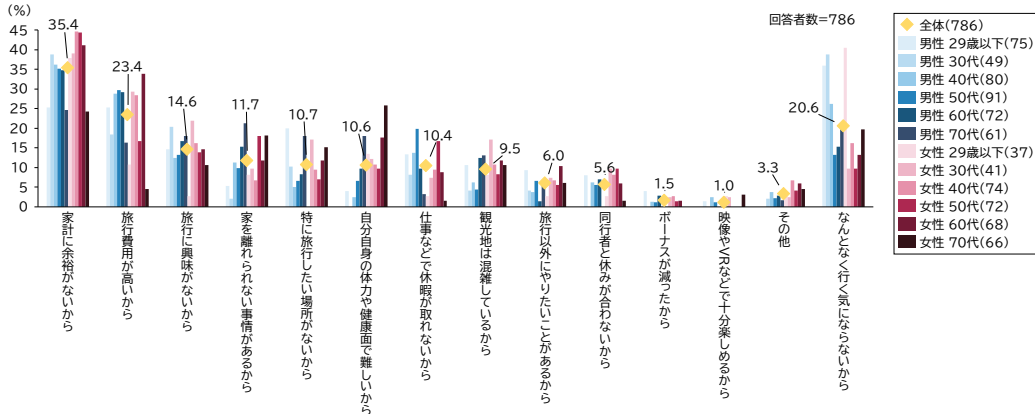
(図表 8)2025 年の国内旅行意向(性年代別、単一回答)



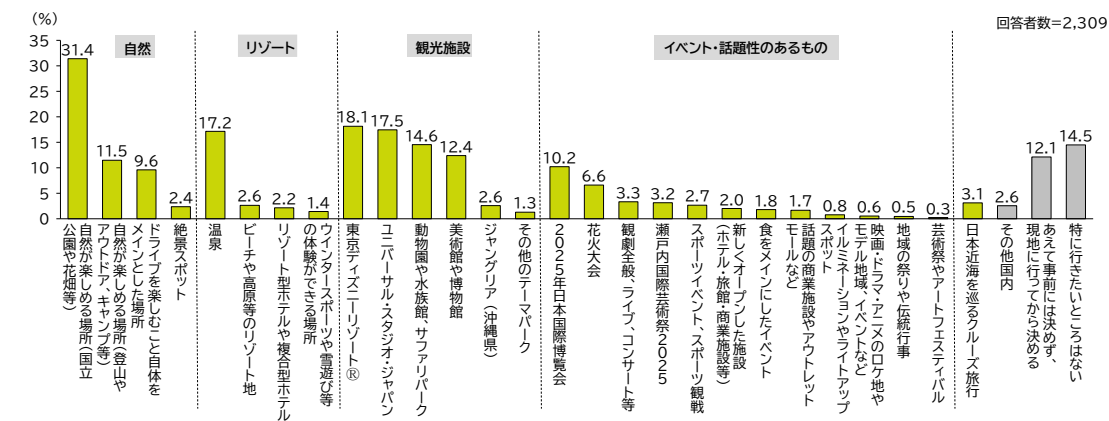
(図表 9)2025 年の国内旅行意向(居住地域別、単一回答)

居住地域	国内				
	1回	2回	3回	4回以上	行かない予定
全体(3095)	28.3	20.5	11.2	14.5	25.4
北海道(150)	28.7	16.0	10.0	16.0	29.3
東北地方(175)	24.0	24.6	9.7	14.3	27.4
関東地方(1137)	26.0	20.1	11.3	15.7	26.9
中部地方(512)	30.3	20.7	11.1	13.5	24.4
近畿地方(549)	30.4	19.9	13.3	14.0	22.4
中国・四国地方(274)	31.4	25.2	6.9	14.2	22.3
九州地方(沖縄含む)(298)	29.5	18.8	12.8	12.4	26.5

(図表 10)国内旅行に行かない理由(性年代別、複数回答)



(図表 11)国内旅行先選定のきっかけになりそうなもの(複数回答)



(図表 12) 国内旅行先(居住地別、複数回答)

居住地域	北海道	東北	関東	中部(東海・甲信越・北陸)	近畿	中国・四国	九州(沖縄含む)	決まっていない
全体(2309)	24.7	15.4	31.3	33.8	26.9	16.8	31.7	13.5
北海道(106)	58.5	11.3	33.0	20.8	14.2	10.4	26.4	9.4
東北地方(127)	21.3	36.2	52.0	22.8	12.6	7.1	19.7	12.6
関東地方(831)	25.6	21.8	31.0	37.9	25.3	16.4	31.5	13.8
中部地方(387)	20.7	8.8	30.0	48.3	29.5	12.9	22.0	12.7
近畿地方(426)	27.2	11.5	30.5	35.7	32.4	20.9	36.2	13.6
中国・四国地方(213)	17.4	7.0	26.3	19.2	34.7	28.2	30.0	15.5
九州地方(219)	16.0	8.2	27.9	16.0	24.7	15.1	52.1	13.7

4. 海外旅行の動向

2025 年の海外旅行人数は 1,410 万人(対前年 108.5%、対 2019 年 70.3%)

一人あたり旅行費用は 334,100 円(対前年 106.2%、対 2019 年 140.9%)

海外総旅行消費額は 4 兆 7,100 億円(対前年 115.2%、対 2019 年 98.7%)

2025年の海外旅行者数は1,410万人(対前年108.5%、対2019年70.3%)、一人あたり旅行費用は引き続き円安や海外物価高などの影響を受け334,100円(対前年106.2%、対2019年140.9%)、海外総旅行消費額は4兆7,100億円(対前年115.2%、対2019年98.7%)と推計します。

近年は急激な円安により海外旅行控えの傾向も見られましたが、今後為替相場が落ち着けば、海外旅行の盛り上がりも期待されます。また、東アジアなどの近距離方面だけでなくオセアニアやヨーロッパなどの中長距離方面の旅行者数も伸びているため、一人あたり旅行費用は前年をさらに上回る見込みです。

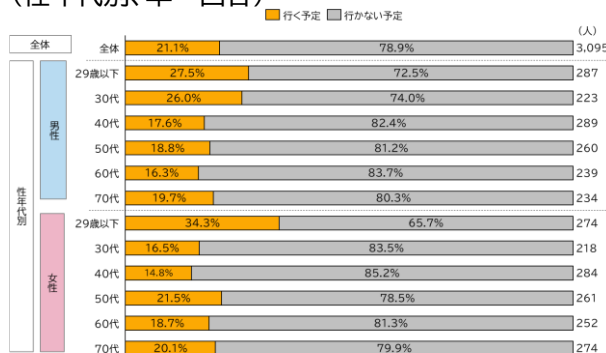
前述のアンケート調査によると、2025年1月～12月の1年間で1泊以上の海外旅行を実施する意向について聞いたところ、「行く予定」と答えた人は21.1%となりました。2024年の旅行実施率が8.7%であったことを考えると、大幅に増加しているといえます。性年代別にみると、「女性29歳以下」が34.3%と最も高く、次いで「男性29歳以下(27.5%)」、「男性30代(26.0%)」となりました(図表13)。

居住地域別にみると、「行く予定」の割合は「関東地方(24.5%)」が最も高く、次いで「近畿地方(22.6%)」、「中部地方(18.6%)」となりました(図表14)。

また現時点で考えている旅行の行き先について聞いたところ、「韓国(30.4%)」が最も高く、次いで「台湾(26.4%)」と近隣の国・地域が高い一方で、「ハワイ(24.2%)」、「ヨーロッパ(18.4%)」など中長距離も人気があります。また性年代別にみると、韓国は女性29歳以下、台湾は男性40代と女性50代、ヨーロッパは女性70代に人気があるなど、世代による違いがみられます(図表15)。

一方で、海外旅行に「一度も行かない」と答えた人は78.9%でした。その理由を聞いたところ、最も割合が高いのが「旅行費用が高いから(33.6%)」、次いで「家計に余裕がないから(26.4%)」、「円安だから(24.4%)」とこちらも経済的な理由が上位となりました。性年代別では、女性70代では「パスポートの有効期限切れ」、「治安の面での不安」、「自身の体力面の不安」、男性50代では「仕事などで休暇が取れないから」が上位になるなど、ライフステージによる違いもみられます(図表16)。

(図表13)2025年の海外旅行意向
(性年代別、単一回答)



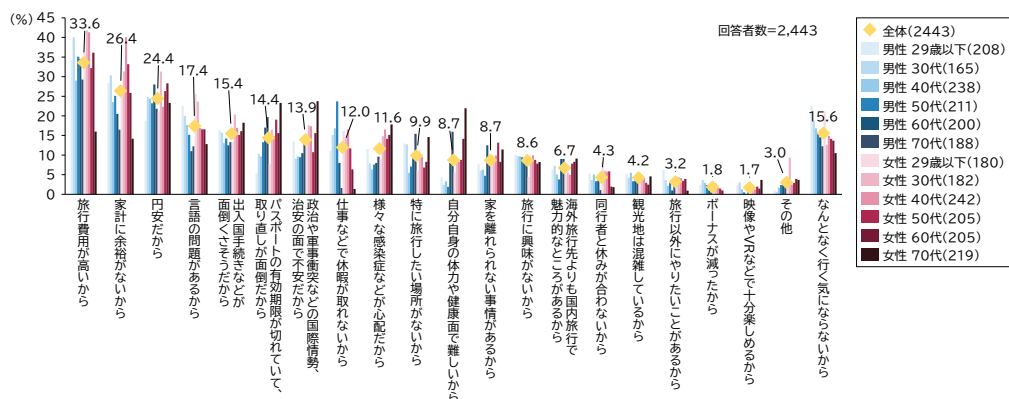
(図表14)2025年の海外旅行意向
(居住地別、単一回答)

居住地	海外	
	行く予定	行かない予定
全体(3095)	21.1	78.9
北海道(150)	16.7	83.3
東北地方(175)	14.9	85.1
関東地方(1137)	24.5	75.5
中部地方(512)	18.6	81.4
近畿地方(549)	22.6	77.4
中国・四国地方(274)	17.9	82.1
九州地方(沖縄含む)(298)	18.1	81.9

(図表15)海外旅行先(性年代別、複数回答)

性年代別	韓国	台湾	ハワイ	ヨーロッパ	東南アジア	オーストラリア	グアム・サイパン	香港・マカオ	米国本土	ニュージランド	中国本土	カナダ	中東	その他海外	決まっていない
全体(652)	30.4	26.4	24.2	18.4	12.9	10.6	9.7	8.1	8.1	5.4	4.3	4.0	2.1	3.5	12.4
男性															
男性 29歳以下(79)	36.7	21.5	24.1	20.3	16.5	15.2	8.9	12.7	15.2	8.9	6.3	8.9	5.1	5.1	13.9
男性 30代(58)	29.3	27.6	31.0	12.1	12.1	6.9	12.1	10.3	3.4	3.4	6.9	1.7	1.7	1.7	12.1
男性 40代(51)	27.5	39.2	29.4	13.7	11.8	15.7	19.6	15.7	3.9	3.9	2.0	3.9	5.9	3.9	3.9
男性 50代(49)	20.4	30.6	20.4	20.4	22.4	16.3	8.2	14.3	10.2	8.2	6.1	2.0	2.0	0.0	16.3
男性 60代(39)	20.5	17.9	33.3	23.1	12.8	12.8	7.7	7.7	10.3	2.6	5.1	5.1	2.6	2.6	10.3
男性 70代(46)	4.3	28.3	30.4	15.2	15.2	6.5	6.5	2.2	2.2	4.3	4.3	0.0	2.2	6.5	8.7
女性															
女性 29歳以下(94)	52.1	21.3	17.0	19.1	4.3	7.4	8.5	4.3	5.3	4.3	1.1	3.2	0.0	2.1	14.9
女性 30代(36)	38.9	27.8	22.2	13.9	13.9	11.1	22.2	11.1	13.9	5.6	13.9	2.8	2.8	2.8	13.9
女性 40代(42)	31.0	16.7	16.7	16.7	16.7	11.9	4.8	2.4	11.9	2.4	2.4	2.4	0.0	4.8	21.4
女性 50代(56)	35.7	39.3	28.6	12.5	7.1	14.3	16.1	7.1	10.7	8.9	1.8	5.4	3.6	3.6	8.9
女性 60代(47)	34.0	23.4	21.3	21.3	8.5	8.5	2.1	4.3	6.4	2.1	2.1	2.1	0.0	4.3	10.6
女性 70代(55)	10.9	25.5	21.8	30.9	20.0	1.8	1.8	5.5	5.5	3.6	3.6	7.3	0.0	5.5	12.7

(図表 16) 海外旅行に行かない理由(性年代別、複数回答)



5. 訪日外国人旅行者

2025 年の訪日外国人旅行者数は 4,020 万人(対前年 108.9%、対 2019 年 126.1%)

2025 年の訪日外国人旅行者数は 4,020 万人(対前年 108.9%、対 2019 年 126.1%)と推計します。

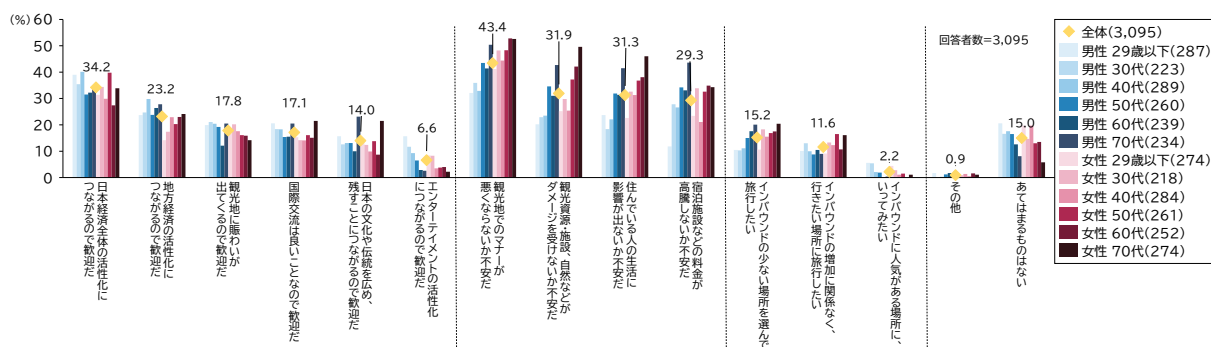
2024 年は新型コロナウイルス感染症(以下、新型コロナ)の収束に加え、急激に進んだ円安の追い風もあり、訪日外国人旅行者数が急増しました。2024 年 1~10 月の累計数は過去最速で 3,000 万人に到達しており、年間では 3,500 万人を超える見込みです。2025 年はそれをさらに上回り、過去最高となります。ただし、新型コロナ後の急激な需要回復が一巡すると考えられ、4,000 万人は突破するものの、前年比 108.9%と伸び率がゆるやかになると予想しています。

国・地域別でみると、「1.旅行者の現状」でも触れたように、上位 7か国のうち韓国、台湾、アメリカ、香港、オーストラリアの 2024 年 1 月~11 月の累計数はすでに新型コロナ前の 2019 年を上回っています。2025 年においても、近隣市場を中心に増加が見込まれます。また回復が遅れている中国については、ビザ緩和措置などの条件が整えば 2019 年並みに回復する可能性があります。

このような状況を踏まえ、今回のアンケート調査対象者に、訪日外国人観光客増加に対する気持ちについて聞いたところ、歓迎する声としては「日本経済全体の活性化につながるので歓迎だ(34.2%)」の割合が最も高く、特に 29 歳以下・30 代・40 代の男性、女性は 50 代で高い結果となりました。次いで「地方経済の活性化につながるので歓迎だ(23.2%)」、「観光地に賑わいが出てくるので歓迎だ(17.8%)」となりました。一方、懸念する声としては「観光地でのマナーが悪くならないか不安だ(43.4%)」の割合が最も高く、次いで「観光資源・施設、自然などがダメージを受けないか不安だ(31.9%)」、「住んでいる人の生活に影響が出ないか不安だ(31.3%)」となり、いずれも男女ともに 50 代以上で高い傾向がみられます。若い世代ほど、経済活性化や地域の賑わいにプラスになるなど前向きな捉え方をしている様子が見えます(図表 17)。

現在、持続可能な観光の一環として、国を挙げてのオーバーツーリズム対応策が進められています。訪日外国人客だけでなく、日本人(旅行者および住民)の満足度も高まるような観光施策に注目が集まっています。

(図表 17) 訪日外国人観光客増加に対する気持ち(性年代別、複数回答)

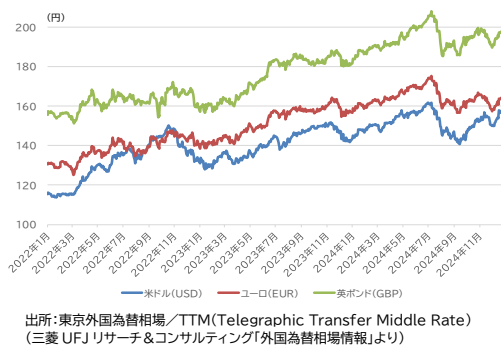


6. 旅行を取り巻く経済環境と暮らし向き

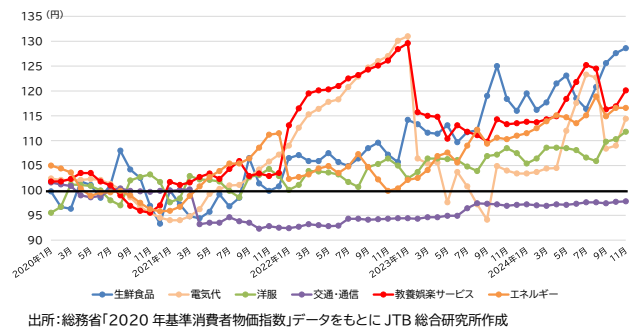
日本経済は、日経平均株価(終値)が 2024 年内に一時的に 4 万円台に乗せたものの、9 月以降は総じて 3 万円台後半で推移しており、一進一退を繰り返しています。また、国内外における物価上昇や欧米での高い金利水準の継続、不安定な世界情勢などの影響を受け、景気の先行きは不透明な状態が続いています。IMF (国際通貨基金)が 2024 年 10 月に公表した「世界経済見通し」では、2024 年の日本の成長率(予測値)は 0.3%で、2025 年の成長率(予測値)は 1.1%と回復が見込まれています。

足元の経済状況を見ると、円安・ドル高傾向は 2024 年も継続しており、7 月上旬には外国為替市場の終値が 1 ドル 161 円台となりました。その後は円安の修正がみられたものの、2024 年 12 月 30 日時点で 1 ドル 158 円台と引き続き円安水準にあり、物価などに大きな影響を与えています(図表 18)。主な品目の消費者物価指数を見ると、2024 年 11 月まで補助金が投入された「電気代」(反映は 12 月分まで)は比較的落ち着きが見られるものの、「交通・通信」を除く品目は引き続き高水準にあり、特に「生鮮食品」の伸びが顕著です(図表 19)。日本銀行が実施している「生活意識に関するアンケート調査」の「現在の暮らし向き」を見ると、2024 年 9 月は「ゆとりが出てきた」の割合が 2022 年 12 月以降最も高く、一方で「ゆとりがなくなってきた」が最も低くなっており、暮らし向きはゆるやかながら改善される傾向がみられます(図表 20)。また、前述のアンケート調査において「旅行に行く」と答えた人に、「今後 1 年間の旅行の支出に対する意向」を聞いたところ、「支出を増やしたい(25.7%)」が「支出を減らしたい(10.5%)」を上回っており、旅行への支出拡大が見込まれます(図表 21)。

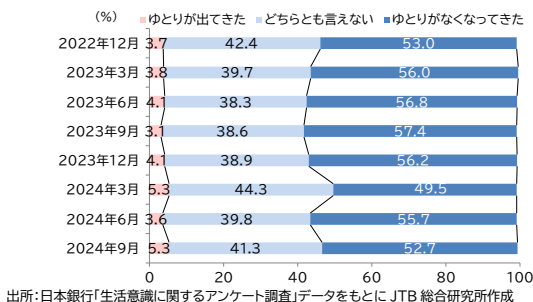
(図表 18)2024年の円に対する主な外国為替レート



(図表 19)主な消費者物価指数の推移



(図表 20)現在の暮らし向き



(図表 21)今後 1 年間の旅行の支出に対する意向
(単一回答、回答者数 = 2,326)

		%
支出を増やしたい		25.7
同程度	回数を増やし単価を減らす	16.6
	回数を減らし単価を増やす	9.7
	単価も回数も同程度	37.6
支出を減らしたい		10.5

【2025 年の旅行に関するアンケート 調査方法】

調査実施期間: 2024 年 11 月 29 日~30 日 / 調査方法: インターネットアンケート調査 (調査委託先: 株式会社マクロミル)

調査対象: 全国 15 歳以上 79 歳までの男女個人 / サンプル数: 本調査 3,095 人

調査内容: 2025 年 1 月 1 日~12 月 31 日に実施する旅行について

※調査結果の数字は四捨五入のため、小計や前年公表の調査結果との差分が合わない箇所があります。

(図表 22)2000 年～2023 年の推計、2024 年～2025 年の見通し数値

	旅行者数(万人)			一人あたり旅行費用(円)		総旅行消費額(億円)			平均旅行回数(回)	訪日外国人旅行者数(万人)
	総数	国内旅行	海外旅行	国内旅行	海外旅行	総額	国内旅行	海外旅行		
	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	前年増減	
2000	33,991	32,224	1,767	35,831	313,401	170,829	115,461	55,367	2.68	474
	+1.2%	+0.8%	+8.0%	▲3.8%	▲1.1%	0.0%	▲3.0%	+6.8%	+0.03	+6.8%
2001	34,131	32,511	1,620	36,573	336,211	173,369	118,903	54,466	2.68	473
	+0.4%	+0.9%	▲8.3%	+2.1%	+7.3%	+1.5%	+3.0%	▲1.6%	0.00	▲0.2%
2002	33,692	32,057	1,635	36,208	309,490	166,674	116,072	50,602	2.64	521
	▲1.3%	▲1.4%	+0.9%	▲1.0%	▲7.9%	▲3.9%	▲2.4%	▲7.1%	▲0.04	+10.1%
2003	33,855	32,520	1,335	35,195	312,873	156,223	114,454	41,769	2.65	524
	+0.5%	+1.4%	▲18.3%	▲2.8%	+1.1%	▲6.3%	▲1.4%	▲17.5%	+0.01	+0.6%
2004	33,036	31,353	1,683	35,660	292,600	161,000	111,800	49,200	2.64	614
	▲2.4%	▲3.6%	+26.1%	+1.3%	▲6.5%	+3.1%	▲2.3%	+17.8%	▲0.01	+17.2%
2005	32,256	30,516	1,740	35,600	294,500	159,900	108,600	51,300	2.62	673
	▲2.4%	▲2.7%	+3.4%	▲0.2%	+0.6%	▲0.7%	▲2.9%	+4.3%	▲0.02	+9.6%
2006	31,794	30,041	1,753	34,310	297,200	155,200	103,100	52,100	2.60	733
	▲1.4%	▲1.6%	+0.7%	▲3.6%	+0.9%	▲2.9%	▲5.1%	+1.6%	▲0.02	+8.9%
2007	31,710	29,981	1,729	34,170	305,600	155,200	102,400	52,800	2.60	835
	▲0.3%	▲0.2%	▲1.4%	▲0.4%	+2.8%	0.0%	▲0.7%	+1.3%	0.00	+13.9%
2008	31,251	29,651	1,600	33,760	286,300	145,900	100,100	45,800	2.51	835
	▲1.4%	▲1.1%	▲7.5%	▲1.2%	▲6.3%	▲6.0%	▲2.2%	▲13.3%	▲0.09	+0.0%
2009	30,455	28,910	1,545	31,940	253,400	131,500	92,300	39,200	2.25	679
	▲2.5%	▲2.5%	▲3.4%	▲5.4%	▲11.5%	▲9.9%	▲7.8%	▲14.4%	▲0.26	▲18.7%
2010	30,808	29,144	1,664	32,020	251,900	135,200	93,300	41,900	2.29	861
	+1.2%	+0.8%	+7.7%	+0.3%	▲0.6%	+2.8%	+1.1%	+6.9%	+0.04	+26.8%
2011	29,969	28,270	1,699	33,100	256,000	137,100	93,600	43,500	2.35	622
	▲2.7%	▲3.0%	+2.1%	+3.4%	+1.6%	+1.4%	+0.3%	+3.8%	+0.06	▲27.8%
2012	30,439	28,590	1,849	32,780	251,900	140,300	93,700	46,600	2.39	836
	+1.6%	+1.1%	+8.8%	▲1.0%	▲1.6%	+2.3%	+0.1%	+7.1%	+0.04	+34.4%
2013	30,833	29,090	1,747	33,940	265,600	145,000	98,700	46,300	2.42	1,036
	+1.3%	+1.7%	▲5.5%	+3.5%	+5.4%	+3.3%	+5.3%	▲0.6%	+0.03	+23.9%
2014	30,140	28,450	1,690	33,740	273,450	142,200	96,000	46,200	2.4	1,341
	▲2.2%	▲2.2%	▲3.3%	▲0.6%	+3.0%	▲1.9%	▲2.7%	▲0.2%	▲0.02	+29.4%
2015	30,781	29,160	1,621	35,220	249,800	143,200	102,700	40,500	2.45	1,974
	+2.1%	+2.5%	▲4.1%	+4.4%	▲8.6%	+0.7%	+7.0%	▲12.3%	+0.05	+47.2%
2016	31,392	29,680	1,712	35,100	248,900	146,810	104,200	42,610	2.51	2,404
	+2.0%	+1.8%	+5.6%	▲0.3%	▲0.4%	+2.5%	+1.5%	+5.2%	+0.06	+21.8%
2017	31,339	29,550	1,789	35,350	246,500	148,600	104,500	44,100	2.51	2,869
	▲0.2%	▲0.4%	+4.5%	+0.7%	▲1.0%	+1.2%	+0.3%	+3.5%	+0.00	+19.3%
2018	30,385	28,490	1,895	35,940	245,500	148,900	102,400	46,500	2.44	3,119
	▲3.0%	▲3.6%	+5.9%	+1.7%	▲0.4%	+0.2%	▲2.0%	+5.4%	▲0.07	+8.7%
2019	31,178	29,170	2,008	38,100	237,200	158,900	111,200	47,700	2.51	3,188
	+2.6%	+2.4%	+5.9%	+6.0%	▲3.4%	+6.7%	+8.6%	+2.6%	+0.07	+2.2%
2020	15,357	15,040	317	-	-	-	-	-	-	412
	▲50.7%	▲48.4%	▲84.2%	-	-	-	-	-	-	▲87.1%
2021	13,351	13,300	51	-	-	-	-	-	-	25
	▲13.1%	▲11.6%	▲83.9%	-	-	-	-	-	-	▲93.9%
2022	24,877	24,600	277	40,000	265,000	105,745	98,400	7,345	1.95	383
	+86.3%	+85.0%	+441.1%	-	-	-	-	-	-	+1432.0%
2023	29,730	28,767	962	44,389	297,260	156,306	127,697	28,609	2.38	2,507
	+19.5%	+16.9%	+247.1%	+11.0%	+12.2%	+47.8%	+29.8%	+289.5%	+0.43	+554.6%
2024 (予測)	31,000	29,700	1,300	47,300	314,500	181,400	140,500	40,900	2.50	3,690
	+4.3%	+3.2%	+35.1%	+6.6%	+5.8%	+16.1%	+10.0%	+43.0%	+0.12	+47.2%
2025 (予測)	31,910	30,500	1,410	47,800	334,100	193,000	145,900	47,100	2.58	4,020
	+2.9%	+2.7%	+8.5%	+1.1%	+6.2%	+6.4%	+3.8%	+15.2%	+0.08	+8.9%

*国内旅行者数は2000年～2023年までは実績推計値、2024年・2025年は推計値 *海外旅行者数と訪日外国人旅行者数は2000年～2023年までは実績値、2024年・2025年は推計値

<報道関係の方からのお問い合わせ先>

JTB 広報室 03-5796-5833(東京) 06-6260-5108(大阪)